

調剤業務改善を目指し 調剤鑑査システムの導入及び検証



ヘルスサポートチーム
清水 一郎 中村 和弘
布施 英紀 横関 亮
チームリーダー
佐竹 正人

出店エリア

岐阜県・愛知県・三重県
福井県・京都府・滋賀県
大阪府・奈良県

店舗数

・ドラッグストア 105店舗
・調剤併設型ドラッグ 14店舗
・調剤単独店 9店舗

本日発表の内容

鑑査システム導入による効果

鑑査システム導入による業務の変化

鑑査システム導入による波及効果

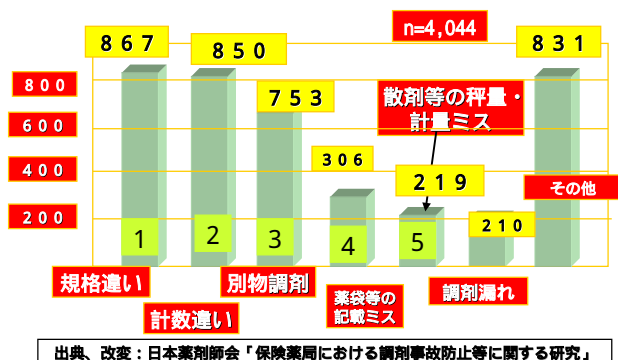
背景・・・調剤過誤対策

当社の基本となる過誤対策

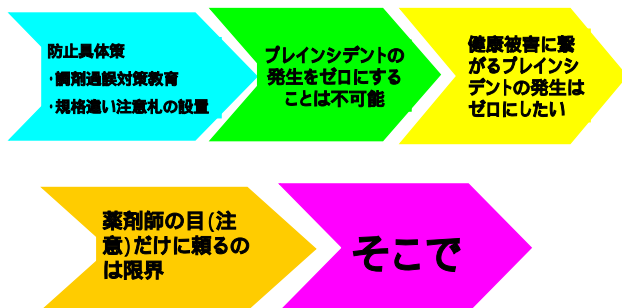
・調剤過誤の発生を出来る限りゼロにするため
プレインシデント(いわゆるヒヤリ・ハット)
事例の記載・分析・検討・対策・運用という
一連の流れを共通ルールとして、全調剤店で調
剤過誤対策の一環として採用しています。

・上記内容の詳細については、第37回日本薬剤師会学術大会
でポスター発表を行っています

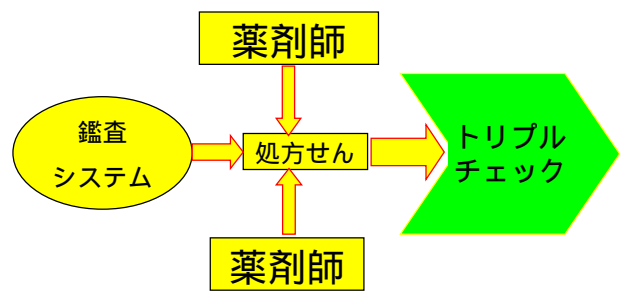
背景・・・調剤ミスの内容



背景・・・プレインシデント(ヒヤリ・ハット)ゼロを目指して



鑑査システム導入



鑑査システムとして当社では下記システムを導入

(株)ユヤマ (株)湯山製作所 製造・販売

調剤過誤防止支援システム

PORiMS

(Patient Oriented Risk Management System)

更に当社では「2次元処方せん読み取りシステム」を導入し、入力ミスの削減と作業の省力化を図っています。

• 散薬鑑査 & 錠剤鑑査システム

• 基本構成



• 散薬鑑査システム

- PC本体
- 電子天秤
- バーコードリーダー
- 印刷装置
- 薬瓶用ラベル

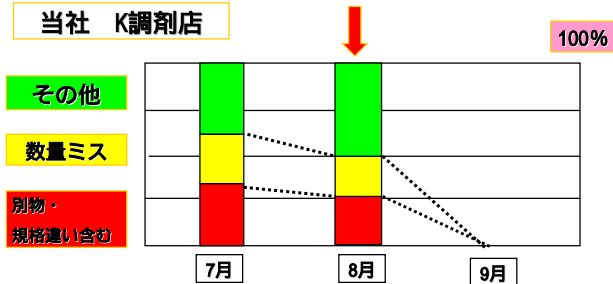


• 錠剤鑑査システム

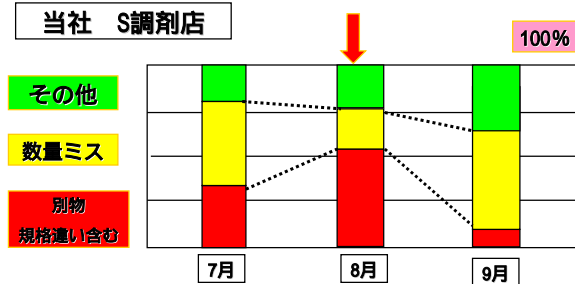
- モバイル端末
- 無線ハブ
- 棚用ラベル



ブレインシデント構成比率変化



ブレインシデント構成比率変化

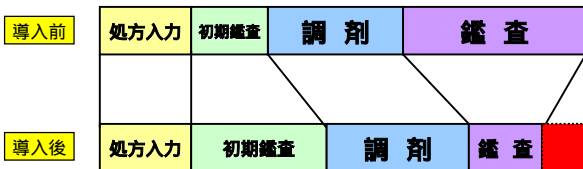


・初期鑑査が更に重要になります

鑑査システム導入前にも当然初期鑑査を行っていましたが、鑑査システム導入後は鑑査システム使用の安全性を担保するために初期鑑査を以前にも増して時間をかけて行うようにしました。

初期鑑査を確実に行うことにより後工程、特に鑑査が短縮されました。

・鑑査システム導入後の調剤の流れ



1分/枚 x 100枚 = 100分 1時間40分の削減

具体例

今まで薬剤師相互で行っていた確認業務が、鑑査システム導入で不要に。

調剤ミスがその場でわかるのでやり直しが早く処理出来る。

PDAの薬品の表示が棚順で表示されるので動線が短くなった。

鑑査システム導入店舗の薬剤師の声
調剤作業に対するの安心感

鑑査システム導入後は、気持ちに余裕が出来た

調剤の記録が残るので、調剤後の不安が解消する

鑑査システムの導入により確実に患者さんへの健康被害を及ぼすプレインシデント（調剤ミス）を減らすことが出来る。

鑑査システム導入により調剤手順の簡素化が図れるため、作業の軽減化が行える。

薬剤師の調剤に対する安心感が確実に増加する。

現在当社は、
薬剤師の**安全**と患者さんの**安心**のために全調剤店舗に鑑査システムの導入を進めています。



ご清聴有り難うございました

